

- 問1 江戸時代初期、徳川家康は海外との貿易を奨励しました。この際、大名や商人などの特定の渡航者に発行され、将軍の公的な許可を得ていることを証明するために用いられた、赤い印が押された文書を何といいますか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 割符 2. 勘合 3. 朱印状 4. 奉書
- 問2 1637年に九州の島原・天草地方で起こった大規模な一揆の背景として、当時の状況を正しく説明しているものはどれか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 江戸幕府がキリスト教を公認して保護したことで、特権を失った仏教勢力が農民を扇動して反乱を起こせた。
2. 鎖国政策が緩和され、海外から安価な農作物が流入したことで生活が苦しくなった農民たちが蜂起した。
3. 領主が新田開発を強制し、キリスト教から仏教への改宗を拒んだ者に対してのみ減税を行ったために対立が深まった。
4. 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。
- 問3 1612年に江戸幕府がキリスト教の信仰を禁じる命令を出し、その約25年後の1637年には大規模な島原・天草一揆が発生しました。この一揆の後、1639年に幕府が取った「ポルトガル船の来航禁止」という措置の目的として、最も適切なものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 一揆の首領であった天草四郎を、ポルトガルの軍隊が直接支援していたことが判明したため
2. オランダとの貿易を停止し、幕府がすべての海外貿易を禁止する方針に転換したため
3. キリスト教の布教を完全に遮断し、幕府による国内支配をより確実なものにするため
4. スペインとの貿易額を増やすために、競合するポルトガルを排除したかったため
- 問4 田沼意次が行った財政再建策のうち、当時の商業の活力を利用して幕府の増収を図った具体的な取り組みはどれですか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. キリスト教の禁止を徹底するために禁教令を強化し、貿易の窓口を長崎だけに限定した。
2. 幕府の独占事業として金銀の鋳造を制限し、貨幣の質を上げることで物価の安定を図った。
3. 商人の同業者組織である株仲間を積極的に公認し、彼らに運上金や冥加金という税を課した。
4. 武士に対して極端な倹約を命じるとともに、農民に米以外の作物を栽培することを厳しく制限した。
- 問5 江戸時代の芸術に関する説明として、室町時代の水墨画を大成した雪舟の作品と明確に区別される、俵屋宗達による装飾的な屏風絵の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 洛中洛外図屏風 2. 唐獅子図屏風 3. 風神雷神図屏風 4. 紅白梅図屏風
- 問6 江戸時代中期の18世紀後半、天明の飢饉などによる社会の混乱を立て直すために松平定信が行った「寛政の改革」の内容として、正しいものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇の政治を理想とし、公家と武士が共同で政治を行う独自の法制度を全国に広めた。
2. 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。
3. 株仲間を積極的に奨励することで商業を活性化させ、その運上金によって幕府の財政再建を図った。
4. 北条泰時にならって裁判基準を簡略化し、江戸の町人に倹約を強いる代わりに重い税を課した。
- 問7 江戸幕府が、大名に多額の費用を負担させて江戸と領地を往復させた制度について、その目的とされた内容の説明として最も適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱を防ぐとともに、江戸への忠誠を示させるため
2. 地方の特産物を効率よく江戸に運び込み、幕府の財政を安定させるための流通網を作るため
3. 大名に全国の道路や石畳の整備を命じることで、農民の年貢負担を軽減させるため
4. 大名の軍事力を江戸に集結させ、外国の船が日本に近づくのを防ぐ防衛体制を整えるため
- 問8 江戸時代の三大改革が行われた共通の背景と、それぞれの改革が目指した主な目的についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。
2. 商業資本の成長を抑えるため、全ての特権的な商人を追放し、自給自足の経済へ戻すことを目指した。
3. 天皇の権威が高まったことを受け、朝廷と協力して政治を行う公武合体の体制を築くことを目指した。
4. 外国船の来航による軍事的脅威に対抗するため、西洋の軍事技術の導入と開国を目指した。
- 問9 古代から江戸時代にかけて制定された日本の主要な法規範のうち、最も古い時代に制定された法規範を1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 分国法 3. 公事方御定書 4. 大宝律令
- 問10 井原西鶴の作品が、当時の人々に広く受け入れられた背景を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 幕府が儒教を推奨したことで、武士の倫理観を批判する文学が許可されたため。
2. 飢饉によって農村が困窮し、都市への人口流入によって読者層が増えたため。
3. 貨幣経済の浸透により力をつけた町人たちが、自分たちの実生活に近い娯楽を求めたため。
4. 鎖国が緩和され、海外の新しい小説技法が日本に大量に流入したため。
- 問11 江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が、実学（生活や産業に役立つ学問）を奨励するために行った政策として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 朱子学以外の学問を幕府の学問所で教えることを禁止した。
2. キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。
3. 長崎の出島におけるオランダ人との貿易を全面的に禁止した。
4. 全国の藩校において、西洋の軍事技術のみを教えるよう命じた
- 問12 水野忠邦が天保の改革において、幕府の財政基盤を固め、江戸や大坂周辺の支配力を強化するために出した命令として、適切なものはどれですか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 農村の人口減少を防ぐため、江戸に流入した農民を強制的に故郷へ帰した。
2. キリスト教の取り締まりを強化するため、すべての領民を寺院に登録させた。
3. 鎖国体制を維持するため、日本に近づく外国船を例外なく打ち払うよう命じた。
4. 江戸や大坂周辺の大名や旗本の領地を、幕府の直轄地にするよう命じた。
- 問13 江戸幕府が制定した法令には、大名が城を勝手に修理したり、幕府の許可なく結婚したりすることを禁じる項目が含まれていました。このような項目が定められた主な目的として、最も適切なものは次のうちどれか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 大名の軍事力の増大や無断の連携を防ぎ、幕府による全国的な統制を強めるため
2. 大名に参勤交代を義務付け、江戸の城下町の経済を活性化させるため
3. キリスト教の布教を阻止し、特定の港でのみ外国との貿易を行うため
4. 朝廷の儀式を簡素化させ、武士が政治の実権を握っていることを明確にするため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 朱印状	徳川家康は幕府の財政基盤を固めるとともに、貿易を統制下に置くため、将軍の朱印（赤い印）が押された「朱印状」を発行しました。これを持った船による貿易を朱印船貿易と呼びます。室町時代に明との貿易で使われた「勘合」と混同しやすいため、時代背景や発行主体の違いを理解しておく必要があります。
問2	答え 4 領主による過酷な年貢の取り立てが行われていたことに加え、キリスト教徒に対する激しい迫害が続いていた。	この一揆は、領主による重い年貢の徴収という経済的な苦しみと、キリスト教徒（キリシタン）への厳しい迫害という信仰上の弾圧が重なったことで発生しました。天草四郎を首領として約3万7千人が原城に立てこもりましたが、幕府軍によって鎮圧されました。この事件を機に、江戸幕府はキリスト教の禁止をより徹底し、鎖国体制を完成させる方向へと政策を強めていくこととなります。
問3	答え 3 キリスト教の布教を完全に遮断し、幕府による国内支配をより確実なものにするため	幕府は島原・天草一揆がキリスト教徒の強い団結によって長期化したことを重く受け止め、禁教をさらに徹底させる必要性を認識しました。そのため、1639年に布教と貿易を密接に結びつけていたポルトガル船の来航を禁止し、いわゆる「鎖国」の状態をほぼ完成させました。スペインについては1624年に既に来航を禁止しています。
問4	答え 3 商人の同業者組織である株仲間を積極的に公認し、彼らに運上金や冥加金という税を課した。	田沼意次は、それまでの年貢（農業）中心の財政から、商業の利益を吸い上げる財政への転換を目指しました。その一環として、商人の同業者組織である「株仲間」を公認して独占販売権などの特権を与える代わりに、税（運上金・冥加金）を納めさせました。これは、新田開発や長崎貿易の拡大と並んで、田沼時代の重商主義的な政策を象徴する取り組みです。
問5	答え 3 風神雷神図屏風	俵屋宗達は元禄文化に先駆け、金箔を背景に用いるなど豪華で装飾的な「琳派」の源流を作りました。水墨画を特徴とする室町時代の雪舟とは作風が大きく異なります。なお、紅白梅図屏風は、のちに俵屋宗達の影響を受けた尾形光琳によって描かれた作品です。
問6	答え 2 武士の借金を帳消しにする棄捐令を出し、農村の復興のために都市の農民を帰らせる旧里帰農令を定めた。	松平定信は、田沼意次の後の政治を担い、困窮した旗本・御家人を救済するために借金を帳消しにする棄捐令を出しました。また、飢饉などで荒廃した農村を立て直すため、江戸に流入した農民に資金を与えて村に帰す旧里帰農令を出すなど、保守的な緊縮財政政策をとりました。株仲間の奨励は田沼意次の政策であり、松平定信はむしろこれらを抑制する傾向にありました。
問7	答え 1 大名の経済力を削ぐことで、幕府に対する反乱を防ぐとともに、江戸への忠誠を示させるため	この制度は、大名に莫大な旅費や江戸での滞在費を負担させることで、幕府に対抗するだけの経済的な余裕を奪う政治的な目的がありました。また、将軍への服従を示す儀礼的な意味合いも強く、幕府の権威を全国に知らしめる役割を果たしました。
問8	答え 1 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。	江戸時代の三大改革（享保・寛政・天保）は、いずれも貨幣経済の浸透による武士の困窮や、冷害などの災害による農村の荒廃、それに伴う幕府財政の悪化という共通の課題に直面していました。そのため、支出の抑制（質素倹約）や収入の安定（年貢の確保・増収）を共通の目的として、幕府の権威を再構築しようとしたものです。
問9	答え 4 大宝律令	大宝律令は701年（飛鳥時代）に制定された律令で、選択肢の中で最も古い法規範です。御成敗式目は1232年（鎌倉時代）、分国法は戦国時代、公事方御定書は1742年（江戸時代）にそれぞれ制定されました。
問10	答え 3 貨幣経済の浸透により力をつけた町人たちが、自分たちの実生活に近い娯楽を求めたため。	江戸時代前期は、農業生産力の向上や貨幣経済の発展を背景に、特に大阪や京都などの都市部で町人の経済力が飛躍的に向上しました。これにより、貴族や武士だけのものではない、町人の価値観や日常の損得勘定を反映した「浮世草子」のような文化が成立・普及する社会的基盤が整いました。
問11	答え 2 キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩和した。	徳川吉宗は享保の改革において、幕府の財政再建とともに産業の発展を目指しました。その一環として、天文や医療、農業といった実用的な知識を取り入れるため、それまで厳しく制限されていた漢訳洋書（西洋の書籍を中国語に翻訳したもの）のうち、キリスト教に関係のないものについては輸入を認め、学問の発展を促しました。
問12	答え 4 江戸や大坂周辺の大名や旗本の領地を、幕府の直轄地にするよう命じた。	この命令は「上知令（あげちれい）」と呼ばれます。経済の重要拠点である江戸や大坂の周辺を幕府が直接支配することで、財政の安定と国防の強化を図ろうとしましたが、領地を失う大名や旗本から猛烈な反発を受け、改革が失敗する大きな要因となりました。選択肢の「人返し」や「異国船打払令」も天保期に関わる政策ですが、領地に関する命令はこの上知令を指します。
問13	答え 1 大名の軍事力の増大や無断の連携を防ぎ、幕府による全国的な統制を強めるため	江戸幕府は、強力な権限を持つ大名たちが再び反乱を起こさないよう、武家諸法度を制定しました。城の修理を制限したのは軍事拠点の強化を防ぐためであり、婚姻を許可制にしたのは大名同士が幕府に無断で強力な同盟を結ぶことを防ぐためです。これらを通じて、幕府は大名に対する絶対的な支配権を確立しようとした。